

新着情報

今月号は「未来の学び プログラミング教育推進月間」についてご紹介します。文部科学省、総務省、経済産業省は、全国の小学校に対して、月間中にプログラミングの授業に取り組んでみるよう呼びかけ、小学校におけるプログラミング教育の実施に向けた準備を推進してきます。

未来の学び プログラミング教育推進月間について

小学校プログラミング教育の必修化まであと1年。9月に推進月間を展開。

趣旨

- 2020年度からの小学校プログラミング教育の実施に向けた機運醸成を目指し、2019年9月を「未来の学び プログラミング教育推進月間」と設定。
- プログラミング教育推進月間の実施に向けて、現在公開している実践事例等に加え、企業と連携し、「プログラミングが社会でどう活用されているか」に焦点を当てた総合的な学習の時間における指導案の配信を行うとともに、当該指導案で活用できる会社訪問等によるスペシャル授業の実施や企業が作成するプログラミング教育に関する動画の配信を行い、プログラミング教育の優れた実践事例の創出につなげていく。
- プログラミング教育推進月間の実施にあわせ、各教育委員会等にICT環境整備の必要性を周知していく。

実施内容

全国の小学校に対して、本月間中に以下のプログラミング教育の授業に取り組んでみるよう呼びかけ、実施に向けた準備を推進。

会社訪問等による スペシャル授業

企業が会社訪問等受け入れ、「プログラミングが社会でどう活用されているか」に焦点を当てたスペシャル授業を実施し、それをもとにプログラミング体験を展開。

未来の学びコンソーシアムHPで 公開している実践事例等を活用した授業

未来の学びコンソーシアムにおいて、各教科等におけるプログラミング教育の事例を公開

これらを踏まえ、月間中に
プログラミング教育を実施
するよう呼びかける

「プログラミングが社会でどう活用されているのか」
に焦点を当て、企業が総合的な学習の時間
におけるプログラミング教育の指導案を作成

企業が作成するプログラミング教育 に関する動画の配信

「プログラミングが社会でどう活用されているか」
に焦点を当てた動画を企業が作成・配信し、
それをもとにプログラミング体験を展開

スケジュール

平成31年2月18日	未来の学び プログラミング教育推進月間のHP開設、会社訪問等によるスペシャル授業の公募開始、企業が作成するプログラミング教育に関する動画の配信の登録開始
3月15日	会社訪問等によるスペシャル授業の公募の締切
4月15日	企業が作成するプログラミング教育に関する動画の登録の締切
9月	未来の学び プログラミング教育推進月間

参照元：文部科学省HPより

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/_icsFiles/afie1dfile/2019/02/18/1413655_1_1.pdf

今、普及率が高い携帯電話と言えばスマートフォンですが、最近の機種は高機能で価格も高くなっているようです。普段スマートフォンをどのように考えて使っているのかと、ふと考えてしまいました。通話をメインとして考えると、色々な機能が備わっている携帯電話であり、インターネットサービス機能等をメインと考えると通話も出来る携帯端末と考えられます。

携帯電話として考えると、価格が高いとありますが逆に携帯端末として考えると、一部の商品を除くとそれほど高くはないのかなと思っています。もしも、紛失した場合はどうでしょうか？個人情報流出、プライバシー侵害、不正利用など色々なキーワードが浮かんできます。そう考えるとスマートフォンは携帯端末として考え使用時には十分な注意が必要ではないでしょうか。

★今月の一言★

電子教科書、タブレット、無線LANアクセスポイント、私が学校に通っていた時には存在していなかった物が数多く学校で利用されています。教育のICT化による時代の流れなんだと感じます。プログラミング教育が始まった際に、宿題を教えて欲しいと子どもに言われた時に、あたふたしないように私も子どもと一緒に勉強する必要があるのかもしれない。

